

令和元年度 事業報告書

自 平成 31 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 31 日

東京都渋谷区千駄ヶ谷 1 丁目 25 番 12 号

公益財団法人東京二期会

令和元年度 事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1. 公益目的事業 1

1-1 オペラ公演

1-1-1 オペラ自主公演 (主催事業)

■ 東京二期会コンチェルトタンテ・シリーズ

ジュール・マスネ作曲『エロディアド』(新制作/セミ・ステージ形式上演)

オペラ全4幕 日本語字幕付原語(フランス語)上演

平成31年4月27日、28日 Bunkamura オーチャードホール (2回)

指揮: ミシェル・プラッソン

合唱: 二期会合唱団

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

公演監督: 大野徹也

助成: 文化庁舞台芸術創造活動活性化事業、

公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、公益財団法人朝日新聞文化財団

協賛: 日興アセットマネジメント株式会社、ダイドー株式会社、GVIDO MUSIC 株式会社

主催: 公益財団法人東京二期会 / 株式会社東急文化村

入場料金: S10,000円、A9,000円、B6,000円、C4,000円、学生2,000円

入場者数: 2,228名(入場率55.7%) チケット販売枚数: 1,843枚

フランスオペラの巨匠ミシェル・プラッソンを再び招聘したことにより、高い音楽的水準を以て作品の真価を伝えることに成功した。同じ題材による作品を2人の作曲家による違いで聴衆に楽しんでもらう「二つのサロメ」シリーズとしても企画し、下記『サロメ』と共通してのイベント等を通じて、オペラ鑑賞のもう一つの視点を提供することにもつながった。

■ 東京二期会オペラ劇場 / ハンブルク州立歌劇場との共同制作公演

リヒャルト・シュトラウス作曲『サロメ』(新制作)

オペラ全1幕 日本語字幕付原語(ドイツ語)上演

令和元年6月5日、6日、8日、9日 東京文化会館大ホール (4回)

指揮: セバスティアン・ヴァイグレ

演出: ヴィリー・デッカー

管弦楽: 読売日本交響楽団

公演監督: 佐々木典子 公演監督補: 牧川修一

助成: 文化庁舞台芸術創造活動活性化事業、

公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団、

公益財団法人ロームミュージックファンデーション、公益財団法人花王芸術・科学財団、

公益財団法人野村財団

協賛: 日興アセットマネジメント株式会社、ダイドー株式会社、GVIDO MUSIC 株式会社、

株式会社メニコン、日鉄テックスエンジニアリング株式会社、みずほ証券株式会社

共催: 公益財団法人読売日本交響楽団

主催: 公益財団法人東京二期会

入場料金: (5,6日ウィークデー・スペシャル) S15,000円、A13,000円、B10,000円、C8,000円、D6,000円、学生2,000円

(8,9日) S17,000円、A14,000円、B11,000円、C8,000円、D6,000円、学生2,000円

入場者数：4,772名（入場率 51.8%）

チケット販売枚数：4,092枚

高い演劇性で抜群の評価を得るヴィリー・デッカー氏演出のプロダクションを、ハンブルク州立歌劇場との共同制作として上演した。誰もが息をのむ圧倒的な舞台美術と精緻な演出は聴衆を濃密な1時間40分へと導き、常任指揮者自ら率いた読売日本交響楽団の音楽とともに、非常に完成された舞台を提供することにつながった。

■ 東京二期会オペラ劇場

ジャック・オッフエンバック作曲『天国と地獄』（新制作）

オペレッタ全2幕 日本語訳詞上演（歌唱部分日本語字幕付）

令和元年11月21日、22日、23日、24日 日生劇場（4回）

指揮：大植英次

演出：鶴山仁

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

公演監督：加賀清孝

助成：文化庁舞台芸術創造活動活性化事業

協賛：日興アセットマネジメント株式会社、ダイドー株式会社、GVIDO MUSIC 株式会社、
上野トランステック株式会社、日鉄テックスエンジ株式会社

主催：公益財団法人東京二期会

共催：公益財団法人ニッセイ文化振興財団【日生劇場】

入場料金：S15,000円、A13,000円、B9,000円、C6,000円、学生2,000円

入場者数：3,801名（入場率 77.0%） チケット販売枚数：3,475枚

人気指揮者大植英次氏と、演劇界の第一線たる鶴山仁氏とを迎え、弊財団として12年ぶりに『天国と地獄』を上演した。書き下ろしとなった台本は各方面から評価を受ける、時宜を得た内容で、多くのソリストを必要とする作品で音楽的、演劇的成功を収められたことは、声楽家団体として矜持を保つものになった。今年度から日本語訳詞上演に採用した歌唱部分のみの字幕も好評であり、今後も続けていく見込みである。

■ 東京二期会オペラ劇場

ジュゼッペ・ヴェルディ作曲『椿姫』（新制作）

オペラ全3幕 日本語字幕付原語（イタリア語）上演

令和2年2月19日、20日、22日、23日 東京文化会館大ホール（4回）

指揮：ジャコモ・サグリパンティ

演出：原田諒

管弦楽：東京都交響楽団

公演監督：大野徹也

助成：文化庁舞台芸術創造活動活性化事業、2020都民芸術フェスティバル参加

協賛：日興アセットマネジメント株式会社、ダイドー株式会社、GVIDO MUSIC 株式会社、
日鉄テックスエンジ株式会社、みずほ証券株式会社、有限会社ジャム、株式会社金冠堂

主催：公益財団法人東京二期会、公益社団法人日本演奏連盟

入場料金：（19,20日ウィークデー・スペシャル）S15,000円、A13,000円、B10,000円、C8,000円、D6,000円、
E2,000円、学生2,000円

（22,23日）S17,000円、A14,000円、B11,000円、C8,000円、D6,000円、E2,000円、
学生2,000円

入場者数：5,636名（入場率 61.2%）

チケット販売枚数：5,392枚

オペラの代名詞と言っても過言ではない作品の新制作として、団体の顔となるような舞台を企図した。宝塚歌劇団所属演出家として多岐に渡る公演を手がける原田諒氏のオペラデビューとなったが、邦人トップ

プランナーのバックアップを経て、安定的な舞台を提供することに成功した。日本デビューとなった指揮者ジャコモ・サグリバンティ氏の音楽作りも好評で、我が国に新たな才能を紹介することにもつながったものである。

1-1-2 オペラ共同制作公演

■ グランドオペラ共同制作

ジョルジュ・ビゼー作曲『カルメン』（新制作）

オペラ全4幕 日本語及び英語字幕付原語（フランス語）上演

令和元年10月19日、20日 神奈川県民ホール（2回）

令和元年11月2日、3日 愛知県芸術劇場（2回）

令和2年1月25日、26日 札幌文化芸術劇場 hitaru（2回）

指揮：ジャン・レイサム＝ケーニック（神奈川／愛知）、エリアス・グランディ（札幌）

演出：田尾下哲

合唱：二期会合唱団、愛知県芸術劇場合唱団、札幌文化芸術劇場カルメン合唱団

管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団

助成：文化庁 劇場・音楽堂等機能強化推進事業

協賛：株式会社メニコン

主催：公益財団法人東京二期会、公益財団法人神奈川芸術文化財団（神奈川県民ホール）、

公益財団法人愛知県文化振興事業団（愛知県芸術劇場）、

公益財団法人札幌市芸術文化財団（札幌文化芸術劇場 hitaru）、

公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団、

公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団、公益財団法人札幌交響楽団

入場料金：神奈川 S16,000円、A13,000円、B9,000円、C7,000円、D5,000円、E3,000円

愛知 S15,000円、A12,000円、B9,000円、C6,000円、D4,000円

札幌 S16,000円、A14,000円、B10,000円、C8,000円、D5,000円

入場者数：神奈川 3,292名（入場率 79.1%） チケット販売枚数：3,005枚

愛知 1,949名（入場率 43.7%） チケット販売枚数：1,912枚

札幌 3,811名（入場率 89.9%） チケット販売枚数：3,625枚

グランドオペラ共同制作という枠組みでは2年目の取り組みで、計6公演行った。近年全国の劇場とのコンソーシアムが拡大を見せる中、初年度とは異なる劇場の組み合わせで全館各2公演を行い、弊財団としては新たな層に対しても鑑賞機会を提供することが可能となった。来年度以降もまた新たな協働が予定されており、オペラの裾野拡大に有用な公演として更に強化を図っていきたい。

1-1-3 文化庁受託公演

■ 2019年度戦略的芸術文化創造推進事業

日本のオペラから世界のオペラへ ～2018年から2020年を経てその先へ～

東京二期会オペラ劇場 / ザクセン州立歌劇場（ゼンパーオーバー・ドレスデン）、デンマーク王立歌劇場およびサンフランシスコ歌劇場との共同制作公演

ジャコモ・プッチーニ作曲『蝶々夫人』（新制作）

オペラ全3幕 日本語及び英語字幕付原語（イタリア語）上演

令和元年10月3日、4日、5日、6日 東京文化会館大ホール（4回）

令和元年10月13日 よこすか芸術劇場大ホール（1回）

指揮：アンドレア・バッティストーニ

演出：宮本亞門

合唱：二期会合唱団

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

公演監督：大島幾雄

協賛：日興アセットマネジメント株式会社、ダイドー株式会社、GVIDO MUSIC 株式会社、
日鉄テックスエンジ株式会社、みずほ証券株式会社

協力：公益財団法人横須賀芸術文化財団（よこすか芸術劇場）

主催：文化庁 / 公益財団法人東京二期会

入場料金：東京（3,4日ウィークデー・スペシャル）S15,000円、A13,000円、B10,000円、C8,000円、
D6,000円、学生2,000円

（5,6日）S17,000円、A14,000円、B11,000円、C8,000円、D6,000円、学生2,000円
横須賀 S13,000円、A11,000円、B8,000円、C5,000円、学生2,000円

入場者数：東京 6,437名（入場率 69.9%） チケット販売枚数：5,828枚

横須賀 681名（入場率 43.5%） チケット販売枚数：700枚

5か年計画の2年目となった今年度は、欧米主要3歌劇場との共同制作を東京で初演するという、公演事業のハイライトとも呼べる『蝶々夫人』を制作した。現代でこの作品を上演する意義を問うた宮本演出は、高田賢三氏の手になる衣裳とともに日本から発信される舞台としてまさにふさわしく、弊財団としての当事業の今後に強固につながるものとなった。

■ 令和元年度文化芸術による子供の育成事業—巡回公演事業

栃木県、埼玉県を中心とした小・中学校（10校）でワークショップと合唱公演を行なった。

- 10月7日 埼玉県行田市立南河原小学校
- 10月8日 埼玉県久喜市立本町小学校
- 10月9日 埼玉県加須市立騎西中学校
- 10月10日 栃木県那須塩原市立箒根中学校
- 10月11日 栃木県宇都宮海星女子学院中学校
- 10月15日 埼玉県越谷市立大沢北小学校
- 10月16日 埼玉県入間市立黒須小学校
- 10月17日 埼玉県久喜市立鷺宮小学校
- 10月18日 埼玉県さいたま市立向小学校
- 10月21日 埼玉県幸手市立吉田小学校

■ 2019年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業

新進芸術家海外研修制度の成果「明日を担う音楽家による特別演奏会」（1回）

文化庁では芸術家を養成するため若手芸術家を海外へ派遣し、研修の機会を提供している。

その成果をお披露目する演奏会。

令和2年3月5日 東京オペラシティコンサートホール

※公演中止 新型コロナウイルス感染拡大の状況下、文化庁との協議の上、開催中止とした。

1-2 演奏会

1-2-1 演奏会自主公演

- 二期会シーズン・オープニング・コンサート
ヴィンチェンツォ・ベッリーニ作曲「清教徒」

令和元年9月1日 横浜みなとみらいホール大ホール
指揮：森内剛
合唱：二期会合唱団
管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団
協賛：ダイドー株式会社、上野トランステック株式会社、日本コロムビア株式会社
主催：公益財団法人東京二期会 / 株式会社株式会社二期会 2 1
共催：公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団

■ 二期会サロンコンサート (5回)

令和元年6月13日、7月18日、10月10日、12月19日、令和2年2月27日
カワイ表参道コンサートサロンパウゼ
入場者数：467名 (入場率 77.8%) チケット販売枚数：442枚

■ 第13回二期会研究会駅伝コンサート (1回)

令和元年7月27日 東京文化会館小ホール
入場者数：475名 (入場率 73.4%) チケット販売枚数：462枚

■ 二期会サマーコンサート 2019 (2回)

令和元年8月23日、24日 渋谷区文化総合センター大和田さくらホール
入場者数：1,075名 (入場率 78.8%) チケット販売枚数：1,264枚

■ 二期会新進声楽家の夕べ (1回)

令和元年9月5日 東京文化会館小ホール
入場者数：528名 (入場率 81.6%) チケット販売枚数：495枚

1-3 オペラ講座の開催

二期会会員高田正人を講師としてオペラの魅力を説く講座 (1回)
高田正人の「オペラ Why not?」～神話が導く大人のオペラ～
令和元年7月12日 文京シビックホール
入場者数：156名 (入場率 52.0%) チケット販売枚数：140枚

1-4 二期会通信の発行

「二期会通信」を年4回 (6月1日、9月1日、12月1日、3月1日) 発行した。
合計 72,000 部発行

1-5 事業資金確保のための寄付金活動

民間からの寄付として、法人賛助会、個人賛助会、特別寄付金を募った。

- ・法人賛助会会員 47 団体
- ・個人賛助会会員 110 名
- ・寄付金 個人 30 名、法人 4 団体

2. 公益目的事業 2

2-1 オペラ歌手の養成

2-1-1 二期会オペラ研修所

予科：	在籍修了者数	31名	基礎音楽表現、演技表現の修得を目的とした。
本科：	同	49名	より高度な音楽表現、演技表現の修得を目的とした。
マスタークラス：	同	44名	オペラ舞台上の総合表現力の修得を目的とした。

2-1-2 第96回二期会オペラ研修所コンサート

令和元年11月15日(1回)

北とびあさくらホール

共催：公益財団法人北区文化振興財団、東京都北区

入場者数：684名(入場率52.6%) チケット販売枚数：367枚

予科、本科、マスタークラス在籍生の中から、成績優秀者(15名)が選ばれ成果を披露した。

今年度は、北区区民280名を招待した。

2-1-3 インターン制度

研修所マスタークラスを優秀な成績で修了した者の中から選考した者を、本公演のアンダースタディに指名して、公演制作現場で一層の研鑽を積ませることを目的としている。研修所所長が指名し、オペラ企画委員会に承認を得た。

研修演目：『蝶々夫人』 塚本正美(蝶々夫人)

『天国と地獄』 新宮雅美(ユリディス)、森川史(キューピット)

『椿姫』 雨笠佳奈(ヴィオレッタ)

2-1-4 表彰

川崎静子賞：第63期マスタークラス 菅原洋平

渡邊高之助賞：第64期本科 室岡大輝

3. 収益事業等

3-1 共益事業

3-1-1 会員・研究会・リサイタル公演(8件)

平成31年

4月7日 成田勝美テノールリサイタル

ハクジュホール

令和元年

5月12日 樋口達哉のオペラ『道化師』プレ・コンサート

第一生命ホール

6月4日 二期会ロシア東欧オペラ研究会定期演奏会

東京文化会館小ホール

9月7日 山口道子「日本歌曲を未来へ」コンサート

旧東京音楽学校奏楽堂

9月29日 イタリア歌曲研究会定期演奏会

イタリア文化会館

10月26日 岸本カバスリサイタル

東京文化会館小ホール

10月27日 二期会ドイツ歌曲研究会

ハクジュホール

令和2年

1月30日 二期会ロシア歌曲研究会定期演奏会

東京文化会館小ホール

3-1-2 演奏会請負事業(全13回)

「あいさつは魔法の力ー音楽劇」(9回) 主催：東京都青少年・治安対策本部

6月7日 稲城市立稲城第六小学校 / 6月21日 江戸川区立南葛西第三小学校

7月5日 町田市立小山ヶ丘小学校 / 7月11日 品川区立御殿山小学校

10月11日 杉並区立大宮小学校 / 10月18日 足立区立花畑小学校

10月23日 板橋区立富士見台小学校 / 11月9日 葛飾区立東水元小学校

2月5日 江東区立水神小学校

「万引き防止音楽劇ーダメと言える勇気をもって」(4回)

主催：東京都青少年・治安対策本部

6月14日 江戸川区立第六葛西小学校 / 7月6日 荒川区立第六日暮里小学校

9月12日 練馬区立関町小学校 / 11月20日 中野区立鷺宮小学校

3-1-3 二期会会報の発行

「二期会会報」を年4回(6月1日、9月1日、12月1日、3月1日)発行した。

合計12,000部発行

3-1-4 二期会会員異動状況

平成 30 年 3 月 31 日現在	二期会	正会員 2,256 名／準会員 459 名	計 2,715 名
平成 31 年 3 月 31 日現在	二期会	正会員 2,301 名／準会員 448 名	計 2,749 名
令和 2 年 3 月 31 日現在	二期会	正会員 2,288 名／準会員 432 名	計 2,720 名
		(増減 Δ13 名／準会員Δ16 名	計Δ29 名)

4. 法人概要

4-1 理事会

・第 30 回

令和元年 6 月 13 日	平成 30 年度事業報告及び附属明細書の承認	可決
	平成 30 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書及び附属明細書並びに財産目録の承認	可決
	定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の承認	可決
	評議員選定委員会人選承認	可決
	平成 31 年度公演状況について	報告
	公演に関する業務委託の状況	報告

・第 31 回

令和 2 年 3 月 10 日 (決議の省略による)	令和 2 年度事業計画書の承認	可決
	令和 2 年度正味財産増減予算書及び資金調達及び設備投資見込みの承認	可決
	オペラ企画委員及び委員長選任の件	可決
	二期会オペラ研修所企画委員及び委員長選任の件	可決

4-2 評議員会

・第 16 回

令和元年 6 月 28 日	議事録署名人の選出の件	可決
	平成 30 年度事業報告及び附属明細書の承認	可決
	平成 30 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書及び附属明細書並びに財産目録の承認	可決
	武田嘉和評議員辞任の件	報告
	評議員選定委員会の件	報告
	平成 31 年予算への附帯事項の件	報告

令和元年度事業報告 附属明細書

令和元年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行細則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年6月
公益財団法人東京二期会